

ものがたり

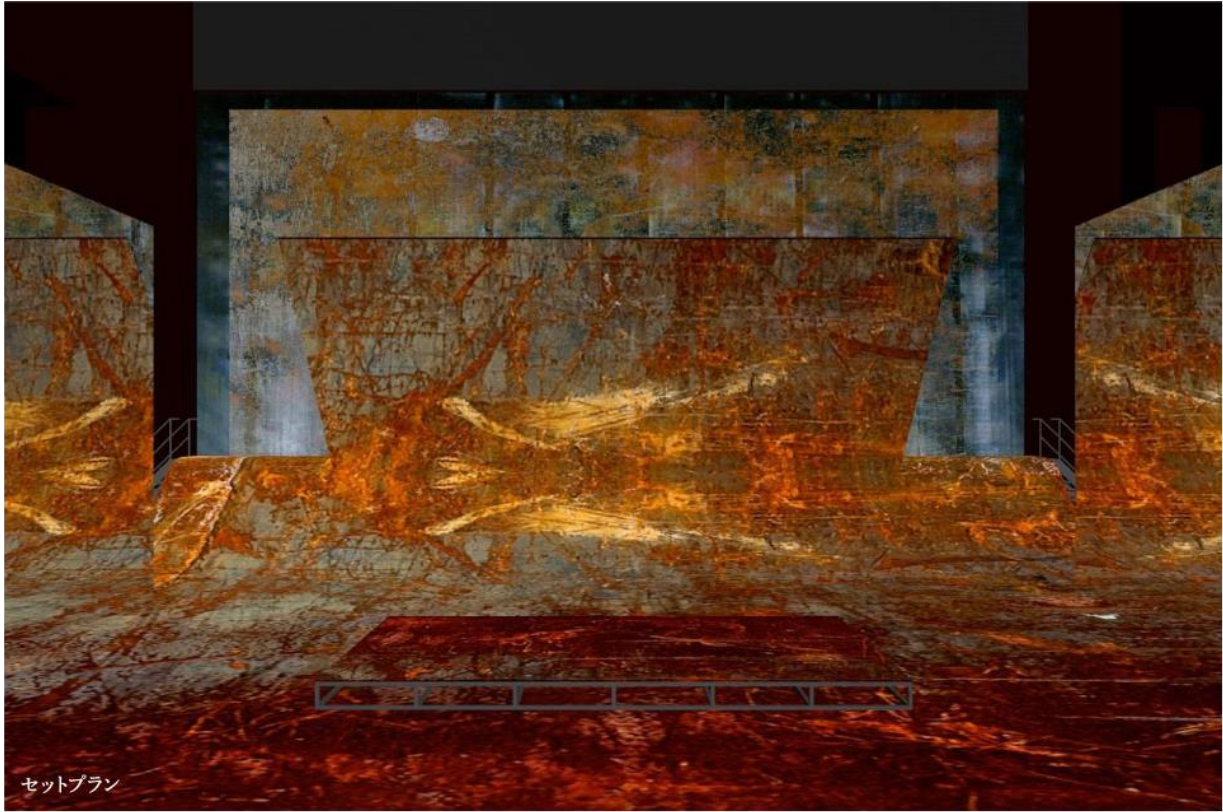
私の人生を射ぬくのは魔の矢か、それとも……

【第1幕】

舞台は平安時代。歌の名家に生まれた国司の宗頼と、権勢を振るう家の娘、うつろ姫の婚礼の儀が執り行われている。歌の道を捨て弓術に邁進する宗頼を父は責め、宗頼は彼の妻に身持ちの悪いうつろ姫をあてがわれたことに怒る。宗頼は、第一の矢（知の矢）、第二の矢（殺の矢）の弓術を習得し、人を殺すたびに、紫苑（忘れな草）を植えさせる。伯父で弓の達人弓麻呂は、歌の血が濃い間は弓の奥義を悟ることはできないと宗頼に告げ、うつろ姫の寝所の男を射殺す。宗頼も次の男を射殺すが、うつろ姫は意に介さない。宗頼の家来、藤内はこの様子にうつろ姫を利用して国を支配する野望を燃やす。狩りに出た宗頼は怪しい魅力を持つ千草と出逢う。

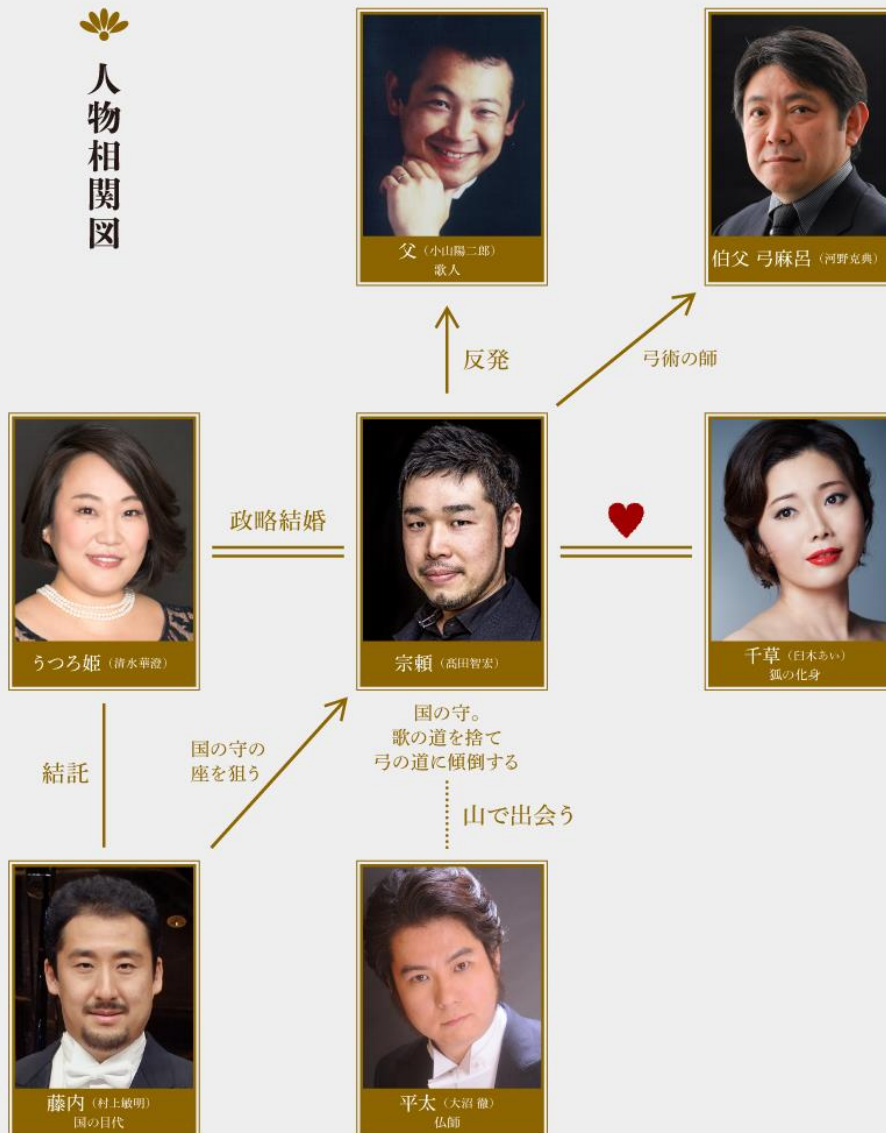
【第2幕】

千草の虜となる宗頼。月の光に照らされ、千草が宗頼が射た狐の化身であることがわかる。狐の妖術に触れた宗頼は第三の魔の矢を悟り、伯父の弓麻呂を射殺す。藤内はうつろ姫と通じ、国司の座を狙う。一方、忘れ草を求めて、宗頼は弓に化けた千草とともに山へと向かう。山の中では岩山に仏の顔を彫る平太が一人で暮らしている。宗頼が平太の彫った仏の顔に知の矢、殺の矢、そして魔の矢を放ち、宗頼諸共岩山が崩れ落ちる。



セットプラン

人物相関図



ACCESS

新国立劇場のご案内

〒151-0071
東京都渋谷区本町1丁目1番1号
TEL : 03-5351-3011(代表)

京王新線(都営新宿線乗入)「初台駅」
中央口(新国立劇場口)直結。



Share

公演をシェアする



Follow us

公式ソーシャルメディア



新国立劇場ホームページ



2018/2019シーズン・特別支援企業グループ

—ONWARD— KAO JTBS TOYOTA HITACHI

当サイトに関する内容一切の無断転載及び使用を禁じます。
Copyright © 2018-2019 NEW NATIONAL THEATRE, TOKYO. all right reserved.